



ひかりのこつうしん

「育ちあう秋」

2026年9月



ひかりの子幼稚園
園長 若槻 三記子

朝夕の風に秋の気配が感じられる季節となりました。9月になり、満3歳児クラス(こりす組)には新しいお友達が5名加わり、いっそう賑やかになりました。みんなで手をつないで賛美歌を歌い、ぎゅっと目をつむってお祈りする姿がとても愛おしいです😊

園庭では、「捕まったら帽子の色を替えるんだよ!」「次は追いかけてきてね!」と、こうさぎ組の子どもたち数人で鬼ごっこを楽しんでいました。ルールをしっかりと理解し、お友達に伝え合いながら遊ぶ姿に、大きな成長を感じて驚かされます。こばと組は、お部屋を移動する際、神妙な顔つきで忍者歩き。「今、修行中なんだよ」と、すっかり役になりきっています。こひつじ組は、憧れだったパラバルーンに挑戦中。「右、左、右、左、上上上上、風船🎈」と、子どもたち同士で声を掛け合いながら、楽しそうにパラバルーンを膨らませています!

ひかりの子幼稚園の運動会のねらいは、「体を動かす楽しさを知る」「お友達と力を合わせる楽しさを味わう」「最後まで努力する」です。本番の学年種目にとどまらず、普段の遊びの中でも、綱引きや玉入れ、パラバルーンなどに触れる機会を持っています。園庭でリレーが始まると、遊んでいた子たちが自然に集まってきて応援する姿もあり、子どもたちにとって運動会はとても身近なものです。また、2学期に入ると、子どもたちの走る姿がぐっとさまになってくるのもこの時期の嬉しい成長です。



初めての経験に不安を感じ、「やりたくない」と戸惑うお子さんも少なくありません。そんな子どもの心の動きを一つひとつ丁寧に見つめ、運動会当日までの「日々の過程(プロセス)」を何より大切にサポートしていきたいと考えています。みんなで力を合わせる達成感、挑戦する勇気、できた喜び、そして時には負けた悔しさ。そのすべてが、子どもたちの心を豊かに育てる大切な宝物です。



例えば年長組では、リレーの走順やチーム分けを子どもたち自身で話し合って決めます。自分の思いを言葉で伝え、お友達の意見に耳を傾けながら、「どうすれば良いか」を一緒になって考えます。「みんなの前で走るのが恥ずかしい」と言う子に対して「鬼ごっこの時はあんなに速いの!」とお友達が気づいて、「じゃあドキドキが少なくなるように走る順番を早くしよう」と考えたり…。あるクラスでは、お友達が一緒に手を繋いで走ることで、少しずつ走る怖さを克服していくなど、子どもたちなりの温かい工夫があふれています。時には意見がぶつかり、なかなかまとまらないこともあります。互いに思いを巡らせて自分たちなりの答えを見つけ、実行していきます。結果がどうであれ、それを自分たちで受け止め、頑張った仲間たちをたたえ合う姿。こうした実体験こそが、子どもたちの心を大きく育てていくのだと感じています。



下の子どもたちは、一生懸命に取り組むお兄さん・お姉さんの姿に「あんな風になりたい!」と憧れを抱いています。一方で、初めて運動会を迎える子どもたちは、大きなグラウンドや大勢のお客さんに緊張して、本領を発揮できない場面もあるかもしれません。「できた・できなかった」という結果だけに心を奪われることなく、その子が歩んできた小さな一歩一歩を認め、しっかりと応援していきたいと思います。今から運動会を楽しみにしている子も、ドキドキしている子も、最後にはみんなが「楽しかった!」と笑顔で言える運動会になりますように。当日は秋晴れのもと、無事に開催できますことを心より祈っております🍁

